

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2017 No.496

4/1

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



平成28年度 第6回理事会開催される



平成29年3月4日(土)、平成28年度第6回理事会が本会事務所講義室で開催された。理事25人のうち22人の出席があり、本理事会は成立した。

初めに、中澤会長から3つの話があった。1つ目は、統一講習会についてであった。目標には届かなかったが、皆さまのおかげで無事に遂行できたということであった。2つ目は、診療放射線技師学校養成所指定規則についてであった。診療放射線技師の10年後の教育についてまとめていきたい考えを述べられた。3つ目は、平成29年6月2日(金)に開催する本会の70周年記念式典についてであった。

本理事会は、11の議題および22の報告が総務委員会 江田理事の司会で進められた。主な議題は「次年度事業計画案について」「次年度事業予算案について」「定款・諸規定の見直しについて」「Ai分科会ガイドラインについて」「各種講習会受講料について」「第35回学術大会候補地の承認について」および「JART委員会・分科会委員の追加について」であった。主な報告事項は「執行理事報告」「会員動向報告」「女性活躍推進班活動について」「JART創立70周年記念式典について」「業務拡大に伴う統一講習会進捗報告について」「熊本地震に対する募金活動のお礼について」および「地域理事報告」であった。

議案の次年度事業計画案については、主な16の事業について中澤会長より説明があり、平成29年度のスローガン「国民と共にチーム医療を推進しよう」が提案された。いくつかの修正があったが、賛成多数で承認された。定款・諸規定の見直しについては、熊代副会長より旅費規程・職務権限規程、財務および会計取扱規程ならびに決裁権限規程などの変更案の説明があった。いくつかの質疑があったが、全て賛成多数で承認された。Ai分科会ガイドラインについては、小児Aiが含まれて改定された内容が提案され、承認された。



各種講習会受講料については、統一された受講料が会員と非会員でおのおの設定された。第35回学術大会候補地の承認については、埼玉県診療放射線技師会より平成31年9月14日(土)から16日(月・祝)までで立候補があり、賛成多数で承認された。JART委員会・分科会委員の追加については、診療放射線技師国家試験問題評価委員会、新生涯教育システム委員会および放射線治療分科会などの委員の変更があり、賛成多数で承認された。

報告事項の女性活躍推進班活動については、全体の活動、平成28年度報告および平成29年度計画が報告された。またワーク・ライフ・バランスアンケートの集計結果が提示された。JART創立70周年記念式典については、記念誌の進捗報告があった。式典では、厚生労働大臣表彰および記念講演などが予定されている。業務拡大に伴う統一講習会進捗報告については、平成28年度の進捗報告および平成29年度の計画が報告された。また実習指導者のための講習会が予定されているとの報告もあった。熊本地震に対する募金活動のお礼については、救護所・避難所・病院などにおける救護活動や巡回診療などの本会の活動に対して、熊本県知事よりお礼状を頂戴したとのことであった。以上で、本理事会は無事終了した。

詳細内容は、第6回理事会議事録(抄)を参照されたい。

熊本県知事 蒲島 郁夫さまよりお礼状を頂く

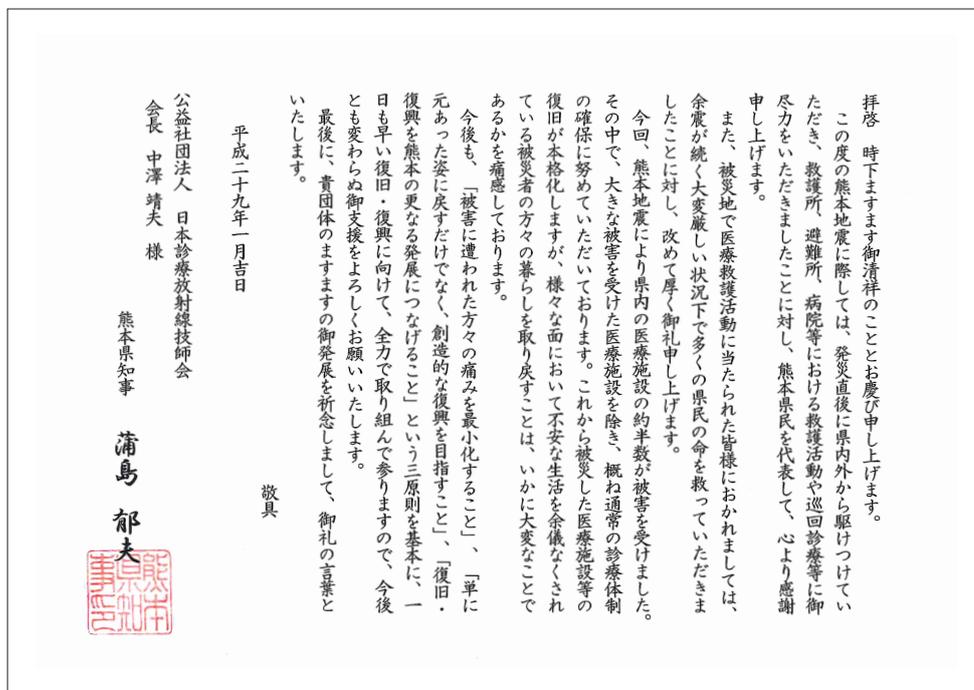
平成28年4月14日以降発生した「平成28年熊本地震」において、お亡くなりになった方々に謹んでお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

また被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されている方々に、深く敬意を表します。

本会としては、地震発生直後に災害対策本部を設置し、熊

本県庁ならびに熊本県放射線技師会と連携を取りながら支援活動に取り組みました。また都道府県(診療)放射線技師会・会員各位より寄せられた義援金847,986円を、熊本県放射線技師会へお渡ししました。

熊本県知事 蒲島郁夫さまより「平成28年熊本地震」における本会の医療救護活動に対して、お礼状を頂戴しましたので、ご紹介します。



第3回 JSRT-JART将来構想会議開催される

平成29年1月7日(土)に、第3回 JSRT-JART将来構想会議が本会事務所で開催された。平成27年7月19日に第1回会議が開催され、今回で3回目となる。出席者は、本会より熊代正行(倉敷中央病院)、富田博信(済生会川口総合病院)、児玉直樹(高崎健康福祉大学)、森 美加(杏林大学)。JSRTより船橋正夫(大阪府立急性期・総合医療センター)、小笠原克彦(北海道大学)、對間博之(茨城県立医療大学)、田中

利恵(金沢大学)である。本会議は、両会の独自性を保ちつつ、より強固に連携しながら活動していくため、今後の課題および現状の整理、両会の担うべき役割、今後の方針(案)などについて意見を交わし、今後の発展に寄与させるべく未来へ向けた建設的な合同会議である。協議内容は、本年度中に両会の理事会へ答申案を提出するため準備を進めている。

(文責：理事 富田博信)

第69回 診療放射線技師国家試験施行される

平成29年2月23日(木)、第69回診療放射線技師国家試験が診療放射線技師法第18条により施行された。試験地は、北海道、宮城県、東京都、愛知県、大阪府、広島県、香川県および福岡県であった。試験科目は、基礎医学大要、放射線生物学(放射線衛生学を含む)、放射線物理学、放射化学、医用工学、診療画像機器学、エックス線撮影技術学、診療画像検査学、画像工学、医用画像情報学、放射線計測学、核医学検査技術学、放射線治療技術学および放射線安全管理学で

あった。

合格発表は3月29日(水)午後2時に、厚生労働省および各地の診療放射線技師国家試験臨時事務所に掲示される。試験委員は、村田喜代史委員長、井上優介副委員長、中村泰彦副委員長および21人の委員で構成されている。

当該試験問題の分析については、本会が提出する評価結果を参照されたい。

平成28年度 国家試験問題評価委員会開催される

平成29年3月5日(日)に、平成28年度の家試験問題評価委員会が本会事務所会議室で開催された。第69回診療放射線技師国家試験は、2月23日(木)に全国8カ所の試験会場で実施され、今年も診療放射線技師養成教育機関から約3,000人の受験者が、試験科目全14科目から出題される200問に取り組んだ。昨年度は受験者数3,016人に対し、合格率は全国平均78.8%(新卒:90.9% 既卒:35.1%)の結果であった。

本会の事業活動を展開していく上で多くの委員会が設置されているが、その中の一つに本委員会である国家試験問題評価委員会が存在する。現在、本委員会メンバーは11人で構成され、それぞれ教育機関や医療施設に属しており、日々専門分野で活躍されている。本委員会は毎年、診療放射線技師の家試験問題が適正であるかをさまざまな視点から検討して、職能団体として本年度施行された国家試験問題の評価分析を行い、意見調整した結果を取りまとめる委員会である。その後、本会で詳細に検討を行い、厚生労働省医政局へ答申書として提出される。

今年の試験問題全体の印象としては、出題傾向に偏りは少なく、診療放射線技師として必要とする知識・技能を問う問題が全科目から適切に出題されていたと感じている。例年は問題不適による削除問題も見られたが、本年度は指摘する問題は少ない印象であった。しかし、近年の傾向である画像問題の画質が決して良いとはいえず、今後の改善を望みたいとのご意見も頂戴している。また他の医療系職種の国試問題にも画像から読み取る問も多く出題されており、医療安全およびチーム医療がキーワードとなり、医療社会のニーズが変

化していると感じている。

本委員会の目的は、受験者である学生に対して施行された国家試験問題が適切であったか、出題された全問を詳細に検討して評価の分析結果をまとめることにあるが、職能団体として、現状の医療現場で診療放射線技師が必要とされる知識および技術を習得しているか、最新の検査・治療技術などが試験問題に反映されているか詳細に議論し、本年度の家試験問題評価委員会の幕を閉じた。

委員会の結果については、近日中に答申書として厚生労働省に提出する予定である。

国家試験問題評価委員会 委員長 佐野幹夫

国家試験問題評価委員会の委員構成

氏名	委員会	勤務先
佐野 幹夫	委員長	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院
西澤 徹	委員	日本医療科学大学
井戸 靖司	委員	岐阜医療科学大学
成田 浩人	委員	東京慈恵会医科大学附属病院
丸山 智之	委員	日本医科大学千葉北総病院
木暮 陽介	委員	順天堂大学医学部附属順天堂医院
丹羽 政美	委員	JA岐阜厚生連揖斐厚生病院
腰塚 慎二	委員	埼玉県立がんセンター
加藤 京一	委員	昭和大学大学院保健医療学研究科
高嶋 優子	委員	東京都がん検診センター
岡部 圭吾	委員	昭和大学江東豊州病院

診療放射線技師基礎技術講習 「超音波実技」開催報告

平成29年2月18日(土)、本会事務所講義室において診療放射線技師基礎技術講習(超音波実技講習会)が開催された。

本講習会は「今から始める超音波検査」と題して、超音波検査未経験または再履修したいと考えているミドルシニア・シニア会員を対象に実施された。超音波検査をセカンドキャリアとして活用していただくことを目的として、実技講習を中心に、受講者数30人限定(当日27人)、講師5人、実習インストラクター5人、実習用超音波装置5台と、充実した内容で行われた。

「肝」「胆・胆道」「膵・脾臓」「腎・膀胱」「腹部大動脈・その他」の5領域について各30分の基礎講義の後、5班(5~6人/班)に分かれ午前90分と午後120分の2回の実技講習を行った。実技では、プローブの持ち方や動かし方、対象臓器ごとの基本走査法やコツ、走査上の注意点やピットホールなど、受講者一人一人に講師が丁寧に説明された。未経験者や初心者にとって、超音波検査の習得は座学だけでは難しいため、実技をメインとした講習会は大変有意義であり、本講習会でも受講者が熱心に受講されていたことが印象的であった。

今回の講習会は、日本診療放射線技師会の超音波研修事業



の一環で実施されたが、病院での臨床業務に生かすことはもとより、就労のためのキャリアアップ、在宅医療や大規模災害における診療放射線技師の関わりを、超音波検査によって実現する期待も込められている。この事業がますます発展し、1人でも多くの会員が超音波検査に携わってくれることを願う。

最後に、本講習会開催に当たりご協力いただいた講師、インストラクターの皆さま、超音波装置を提供いただいた株式会社日立製作所ヘルスケアのスタッフの皆さま、企画いただいた日本診療放射線技師会関係各位に感謝を申し上げます。

(理事 江藤芳浩)



本会への入会手続きについて(お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ (<http://www.jart.jp>) から「新規入会はこちらから」をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL : 03-5405-3612 E-mail : info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。



INFORMATION

第11回 読影セミナー開催される

平成29年2月12日（日）午前10時より、九州大学病院臨床大講堂において第11回読影セミナーが開催された。内容は、本年度のテーマである整形外科・スポーツ外傷の診療と読影の補助を企画した。本セミナーは福岡県の開催にもかかわらず関東地方など遠方からの参加者もあり、参加登録者111人という多くの方々に参加いただいた。

今回のプログラムは、午前より整形外科医師の講師陣で『スポーツ外傷の特性と求める画像所見』の「上肢」「躯幹」「下肢」の3講演が行われた。上肢編では光安整形外科 光安廣倫先生、躯幹編では九州大学整形外科学教室 播広谷勝三先生、休憩を挟み、九州大学整形外科学教室 岡崎賢先生より下肢編のご講演を頂いた。実際の臨床現場で活躍されている専門医から、整形外科領域のさまざまな症例や疾患を提示していただき、実際の現場に必要な読影や疾病の知識を、X線画像やCT・MRI画像を用いて解説した充実した内容であった。講義後の質疑では、時間を超えて丁寧な解説やご教示を頂いた。その中で、X線画像で分かること、MRIで分かることなど、各モダリティの特長を生かした解説が、診療放射線技師における読影の補助において大いに参考となった。続いて、とうかい整形外科かわげ 難波一能先生より『整形外科領域の撮影に求められる必要な知識と技術』を2部にわたってご講演いただいた。専門領域の臨床に関わる適切な画



像再構成や表示法、適切なポジショニングや画像を見るポイントとコツについて講演された。その中で「分からない人は撮ってはいけない」という言葉がとても印象的で、熱い内容となった。

朝からの終日開催であったが、どの講演もセミナー受講者は真剣なまなざしで聞き入っており、われわれ診療放射線技師に何が求められているのかなど、大いに考えさせられる有意義なセミナーは盛況となり、読影分科会 市田委員のあいさつで閉会となった。

（文責：日本診療放射線技師会 読影分科会委員
北里大学東病院 安富藏人）

本会の動き

統一講習会実施運営委員会より —— 受講のお願い ——

第186回通常国会において、医療・介護 制度改正の一括法案が平成26年6月18日に成立し、6月25日に公布された。この一括法案の中には、診療放射線技師法も含まれている。そのため本会では、診療放射線技師法 第二十四条の二第二号の診療の補助として行える行為に対して、医療安全の確保の観点から業務拡大に伴う統一講習会を実施している。

統一講習会実施運営委員会は、佐野副会長をはじめ北村理事、中村理事、川又委員、加藤委員、蘆原委員、腰塚委員、山入端委員、鶴田委員、奥田委員ならびに保川専門職の11人で運営している。主な目的は、各地域の統一講習会が円滑に実施できるよう、課題の検討および指導者養成（実習指導者）をするための講習会の実施である。

すでに受講されている皆さまは、全国で7,000人を超えている（平成29年2月21日現在）。しかし、非会員の皆さまへの広報が行き届いていないなどの理由から、非会員の皆さまの受講が促進されないことが課題となっている。

厚生労働省医政局医事課長通知からもご理解いただける通り、医療安全を推進している診療放射線技師の皆さまにおかれましては、本会の統一講習会を受ける必要があります。本会のホームページにあるJART情報システムから受講申し込みができますので、ぜひ受講をお願い致します。また統一講習会の実施は、平成31年度までとさせていただきますので、早めの受講をお願い致します。

平成28年度 近畿地域診療放射線 技師会学術大会報告

公益社団法人日本診療放射線技師会
近畿地域理事 清水 操

平成29年2月19日(日)、和歌山県和歌山市 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛において、「必要とされる診療放射線技師をめざす～患者満足度を高めよう～」をテーマとした標記大会が、川合久之大会長の下、総勢294人(一般市民18人含む)の参加を得て盛大に開催された。

教育講演では、本会 中澤会長より「日本診療放射線技師会の政策と課題」として、診療放射線技師法の抜本的改正、診療放射線技師教育内容の見直し、臨床実習の在り方、将来に向けた教育制度の在り方について、それぞれ本会の具体的な取り組みをご講演いただいた。

特別講演では、株式会社スマイル・ガーデン 村尾孝子さまより「患者さんの立場から考える医療接遇」について、感謝の気持ちを持ち続けて患者さんと接していくことが大切との内容を伝えた。

市民公開講座では、和歌山電鐵株式会社代表取締役社長 小嶋光信さまより「忠恕^{ちゅうじよ}」を経営理念として、猫の「たま駅長」でシンボル化された和歌山電鐵の再生を通じて、地域社会を公共交通で活性化されたご経験をお話いただいた。

シンポジウムは、大規模病院・中規模病院・小規模病院・検診施設・行政の立場で、近畿各府県代表のシンポジストからそれぞれ医療安全の取り組みについて発表・ディスカッションが行われた。

女性活躍推進班では、テーマを「職場環境をよくする



ために他施設の状況を知ろう②～技師長 間かしてもーてかまいませんか?～」とし、総合リハビリテーションセンター・みどり病院 橋本薫氏、大阪府立急性期・総合医療センター 船橋正夫氏、和歌山ろうさい病院 黒澤昭典氏の3人のパネリストを交え、活発なディスカッションが繰り広げられた。

読影分科会では、昭和大学 加藤京一氏から「読影分科会の活動と読影補助の普及について」、大阪市立大学 出田真一朗氏から「読影を補助するために有用な画像作成のあり方」、兵庫県立姫路循環器病センター 前田啓明氏から「見逃し症例から見る読影能力の必要性」について、また放射線管理士分科会では、ベルランド総合病院 鈴木賢昭氏から「医療被ばく低減施設認定」、公立南丹病院 山根稔教氏から「放射線災害の目指す方向 京都府の現状」についての講演があった。

テーマ演題は、撮影技術・医用画像技術・放射線管理・機器管理・安全管理の分野で18演題の発表があり、熱心な質疑応答が行われていた。

他に、手話講座・心電図講座・デジタルマンモグラフィリーディングなど、和歌山県独自のプログラムも設定され大変好評であった。

学術奨励賞は、近畿大学医学部附属病院 霜村康平氏の「transXend 検出器の原理を利用した single shot X-ray imagingによる骨構造除去の試み」、近畿地域理事賞は、京都医療センター 大西孝志氏の「治療計画装置アップグレード時のコミショニングの必要性」が受賞した。



非常に充実したプログラムを企画し、大会運営にご尽力いただいた和歌山県 川合会長をはじめ実行委員の皆様

さまに、心より感謝を申し上げます。



transXend検出器の原理を利用したsingle shot X-ray imagingによる骨構造除去の試み

滋賀県放射線技師会
近畿大学医学部附属病院 霜村康平



学術奨励賞を頂いて

このたびは学術奨励賞を頂き、大変光栄であります。学術委員、近畿地域放射線技師会員の皆さまに深く感謝申し上げます。

X線画像から骨構造を除去する手法には、従来Dual energy subtraction (DES) 法が利用されています。本研究では、DES法の欠点である体動によるアーチファクトの解消と骨構造除去能向上を目的に、transXend検出器の原理を応用し、X線画像から骨構造を除去する新たな手法の開発を進めてまいりました。具体的には、複数のImaging plate (IP) を4枚に重ねてX線撮影を行い、得られた4枚の画像から、体内の軟部組織、骨物質および被写体の厚みを求め、X線画像から骨構造の除去を行います。transXend検出器は、被写体を通過後のエネルギースペクトルと被写体厚や被写体内の物質厚

を推定することができます。すでに基礎的検討を終え、動物を用いた骨画像と骨除去画像の取得を試みています。しかし、体内物質の厚みの算出精度は散乱線が大きな影響を及ぼしており、現在は散乱線の除去と補正方法を確立することに取り組んでいます。動物のX線画像を撮影するためには、動物愛護に関連する法律を順守しなければならない、そのため当院で定められた動物の取り扱いに関する研修を受ける必要がありました。単純なX線撮影を実施するだけでも動物愛護の観点からさまざまなことに配慮しなければならず、初めてのことで、貴重な体験をさせていただきました。臨床導入が実現できるには、もう少し道のりは長くなると思われませんが、引き続き本研究を進めていきたいと思えます。

最後に、共同研究者の皆さまや院内スタッフの協力によって、本研究を皆さまにご報告できるまでに至りました。ここに深く感謝申し上げます。



ラット撮影時の様子

JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

上手な議事録の書き方講座

シリーズ連載
series serialization



♪見えない光線 R♪ 本会の会歌「たのしいJART」の一節である。

ところが昨今、放射線は見えない光線ではなくなっている。放射線を幾何学的かつ定量的に画像化する方法は、私たちが行っている核医学検査もその一つであるが、最近では分子イメージングやコンプトンカメラなどの新しい手法として、さまざまな分野で注目を浴びている。見えないものが見えるようになる。一時期生産管理工程などでいわれていた「目で見える」「見える化」を思い出す。

さて、本会もそうであるが、日々さまざまな多くの会議が行われている。その会議録である「議事録」は、会議の内容や経過・結論などを記録する文書として大変重要な役割を果たすとともに、その作成には大変な労力を要しているのも事実である。今回はそんな議事録作成人(?)のために、一目瞭然で分かりやすい、見やすい議事録の書き方を考える。

議事録の必要性は、次の3つである。

- ①後日のために記憶ミスを防ぐ
 - ②会議に参加できなかった者に内容を伝える
 - ③協議内容・決定事項と、その内容・期限・対応者を明確にする
- この目的に沿って議事録を作成するためのポイントは4つある。

それは、

- ①フォーマットを統一する
議事録にはそれぞれ決まったフォーマットがあるので、それに従って作成する。

②24時間以内に提出する
会議中は発言内容をメモし、終了後1時間以内にポイントをまとめて作成する。録音は聞き漏らした所を確認するにとどめる。

③5W1Hを意識する
議題にもよるが、基本的に「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「なぜ」「どのように」を意識して簡潔に作成する。

④保留事項や継続審議事項を明示する
次回以降の会議準備として、保留事項や継続審議について明確にして、その項目の期限と担当者を明示しておくのである。

もちろん上手な議事録を書くためには書き手だけではなく、上手な会議のやり方を心得た進行側の「会議術」が大切であることは言うまでもない。

また「議事録ドリブン」という手法もある。これは、審議事項をリアルタイムにプロジェクターなどで投影して会議を進めていく方法で、会議が終わった時点で議事録は完成している。

本会は年間500回に迫る会議が行われている。会議にかかる費用も全体の6%を超える。事業の「見える化」は、会議の「見える化」でもある。会議を進める側と会議を記録する側、そして会議に参加する側の全員のスキルが一致して初めて有意義な会議となるのである。

会議議事録は24時間以内に提出する。……と思う。

(文責：小田正記)

国際学術大会スケジュールのお知らせ

下記の通り、関連の国際学術大会が予定されております。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

また下記の大会は、国際学術交流助成の対象となります。申請の詳細は、本会ホームページ (<http://www.jart.jp/profile/j3kk2n0000000bfb-att/kokusaigakujuytukouryu.pdf>) をご確認ください。最新情報ならびに参加登録などの詳細は、各Webサイトでご確認ください。

第21回 AACRT (Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists)

- 開催日程：2017年6月23日(金)～6月25日(日)
- 開催地：香港 香港サイエンスパーク内コンベンションセンター

第24回 EACRT

(24th East Asia Conference of Radiological Technologists : 東アジア学術交流大会)

第33回日本診療放射線技師学術大会に併催

- 開催日程：2017年9月22日(金)～24日(日)
- 開催地：日本 北海道 函館 函館市民会館・函館アリーナ

第20回 ISRRRT World Congress

- 開催日程：2018年4月12日(木)～15日(日)
- 開催地：トリニダード・トバゴ共和国 Hyatt Regency



INFORMATION

INFORMATION



第7回 第33回日本診療放射線技師学術大会
函館への道(食・街・人)

函館放射線技師会 会長 真壁武司

函館ラーメン物語

北海道に来たら札幌ラーメンという方も多いと思われます。北海道では、札幌の味噌、旭川の醤油と並び、北海道三大ラーメンの一つとされている**函館の塩**があります。全国的には札幌・旭川のラーメンほど知名度は高くありませんが、これからの「伸びしろ」に期待し、昨年の岐阜大会でカップ麺を配布させていただきました。

函館の塩ラーメンの歴史は、函館が国際貿易港として開港したことで、西洋文化だけではなく華僑とも深い付き合いが築かれたことが背景にあります。資料によれば、開港間もない幕末に、中国ルートから伝わった中国南部の湯麺だといわれています。つまり函館のラーメンは、東京や横浜などを經由していない中国直系であるといえます。鶏ガラの澄んだスープはそのころからの伝統ですが、今ではだしに豚骨・香味野菜・昆布・カツオなどが加わり、各店が工夫を凝らし、さまざまな塩ラーメンを提供しています。

地元でもおいしいと評判のラーメン店を紹介致します。



●あじさい

五稜郭タワーのすぐそば、創業80年以上を誇る老舗ラーメン店です。観光名所である五稜郭公園の近くにあることから、根強い地元客のみならず観光客にも人気を博しています。人気メニューは、昔から変わらず『味彩塩拉麺』。道南産の昆布をベースに、豚骨鶏ガラと天然の岩塩を使った濁りのない透明な清湯スープは、特注ストレート細麺と相性抜群で、安定の塩ラーメンです。

●しお家

五稜郭地区にあり、午後10時から営業を開始するラーメン店です。函館で飲んだしめは「しお家」で、といったところでしょうか。店内に入ると赤い横幕が見られ、横一直線のカウンター、奥にはテーブル席があります。ラーメンには大きなチャーシューと麩、濃い彩りのハウレンソウ、メンマと刻みネギが乗り、スープはほぼ透明で、鶏ガラ豚骨の集大成といえる味わいは、うま味とコクが嫌みなくあっさりと感じられます。やや「しょっぱい」と感じる方もいるかもしれませんが、うま味はひとしおです！

●マメさん

市電「十字街」電停から宝来町方向へ少し歩いた交差点角にあります。昭和40年代からお店がありますが、移転して現在の場所に構えています。新函館ラーメンを名乗り、優しい味の塩ラーメンを提供しています。

4月・5月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 業務拡大に伴う統一講習会：

埼玉①	4月22日(土)～23日(日)	神奈川	4月22日(土)～23日(日)
青森	4月29日(土・祝)～30日(日)	愛知	4月29日(土・祝)～30日(日)
京都	4月29日(土・祝)～30日(日)	沖縄	4月29日(土・祝)～30日(日)
秋田	5月13日(土)～14日(日)	東京	5月13日(土)～14日(日)
静岡	5月13日(土)～14日(日)	鹿児島	5月13日(土)～14日(日)
宮城	5月20日(土)～21日(日)	福井	5月20日(土)～21日(日)
福岡	5月21日(日)・28日(日)	埼玉②	5月27日(土)～28日(日)
岐阜	5月27日(土)～28日(日)		
- 基礎技術講習(MRI検査)：

佐賀	5月14日(日)	大阪	5月21日(日)
----	----------	----	----------
- 骨関節撮影セミナー：

福岡	5月14日(日)		
----	----------	--	--

調査委員会から平成29年度実施予定調査のお知らせ

INFORMATION

調査委員会では、2年ごとの調査として平成29年度は『業務実態調査』『給与の動向に関する調査』を行います。調査票は、設問内容と回答方法が分かりやすいように、紙面調査からExcel(チェックボックス・チェックボタン)を使用した方式に変わります。全国の会員ならびに施設の状況が反映できるように、全国で1,250以上の回答数を目標としています。実施に当たり、47都道府県(診療)放射線技師会のご協力を頂いて、各都道府県の会員の皆さまへ調査依頼をお願いします。

- 1) 調査名 『業務実態調査』『給与の動向に関する調査』
- 2) 調査期間 『業務実態調査』 平成29年4月15日~5月15日
『給与の動向に関する調査』 平成29年12月~平成30年1月ごろ(予定)
- 3) 調査方法 Excel(チェックボックス・チェックボタン)を使用した方式
- 4) 調査案内 案内一式を47都道府県(診療)放射線技師会会長へメール送信
- 5) 回収方法 Excel調査票を調査委員会へメール送信
- 6) 47都道府県調査依頼数 全国依頼数1,250以上

地域	都道府県	依頼数	地域	都道府県	依頼数	地域	都道府県	依頼数	地域	都道府県	依頼数			
北海道 (1)	北海道	50	東北 (6)	青森	20	北関東 (5)	新潟	30	南関東 (5)	千葉	30			
					岩手		20			栃木	20		東京	50
					秋田		20			茨城	30		神奈川	50
					宮城		20			群馬	30		山梨	20
					山形		20			埼玉	40		長野	30
					福島		30							
合計		50	合計		130	合計		150	合計		180			
地域	都道府県	依頼数	地域	都道府県	依頼数	地域	都道府県	依頼数	地域	都道府県	依頼数			
中日本 (7)	富山	20	近畿 (6)	滋賀	20	中四国 (9)	岡山	30	九州 (8)	福岡	50			
	石川	20			京都		20			広島	30		佐賀	20
	福井	20			奈良		20			鳥取	20		長崎	20
	静岡	30			和歌山		20			島根	20		大分	20
	愛知	50			大阪		40			山口	20		熊本	20
	岐阜	30			兵庫		40			徳島	20		宮崎	20
	三重	20								香川	20		鹿児島	20
						愛媛	20		沖縄	20				
						高知	20							
合計		190	合計		160	合計		200	合計		190			

診療放射線技師のための フレッシューズセミナーのお知らせ

INFORMATION

プログラムは、エチケットマナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎(都道府県により違いあり)など、現場ですぐに役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更する可能性がありますので、詳細は都道府県(診療)放射線技師会までお問い合わせください。

フレッシューズセミナー開催予定:

群馬	4月23日(日)	群馬県立県民健康科学大学 西棟1階 多目的ホール	愛媛	5月13日(土)	会場(調整中)
福岡	5月13日(土)	会場(調整中)	埼玉	5月21日(日)	ウエスタ川越2階会議室1・2
茨城	5月21日(日)	茨城県立医療大学	鹿児島	5月21日(日)	会場(調整中)
秋田	5月27日(土)	会場(調整中)	東京①	5月28日(日)	会場(調整中)
熊本	6月4日(日)	会場(調整中)	岩手	6月11日(日)	会場(調整中)
福島	6月11日(日)	会場(調整中)	東京②	6月11日(日)	会場(調整中)
千葉	6月11日(日)	井上記念病院8階講堂	北海道	6月17日(土)	会場(調整中)
青森	6月17日(土)	会場(調整中)	宮城	6月17日(土)	会場(調整中)
静岡	6月17日(土)	静岡県放射線技師会 事務所	沖縄	6月18日(日)	沖縄県南部医療センター・こども医療センター
京都	7月2日(日)	会場(調整中)	和歌山	7月2日(日)	会場(調整中)
大分	7月8日(土)	会場(調整中)	宮崎	7月8日(土)	宮崎市郡医師会病院
佐賀	7月22日(土)	会場(調整中)	長野	7月22日(土)~23日(日)	会場(調整中)
滋賀	7月23日(日)	会場(調整中)	香川	8月5日(土)	会場(調整中)
神奈川	8月27日(日)	会場(調整中)			

事務所
案内

執務時間: 月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日および年末年始(12月29日~1月3日)は執務致しません。